

# ICT機器を活用した授業

徳島県立吉野川高等学校

「進化する教室イノベーション事業」実施校

「進化する教室イノベーション事業」とは・・・

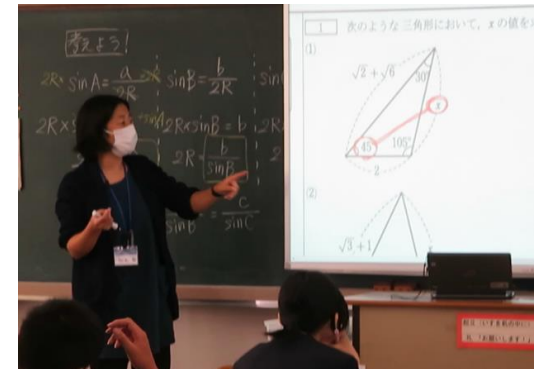
日常的にICTを活用できる電子黒板システムを新設し、これまでの環境と連携して、学びの質を高める授業での効果的なICT活用方法についての実践的研究を行い、その成果を広く普及することを目的とする。



教師用タブレット端末から様々な教材が提示できるようになった。

## 電子黒板を活用するとこんなメリットが！

- 板書する時間を短くし、より**具体的な説明を行う時間が多く確保**できる。
- 授業で地図や図形を提示する際に、手書きで示すより見やすいし、**電子ペン**で書き込みながら説明ができる。
- 映し出した映像（動画）**のポイントとなるところで教員が説明を加えることによって、学んだことをより深められる。
- 授業用支援アプリケーションソフト**を使用し、教科書の内容や生徒間の意見の集約等がより分かりやすく説明できる。



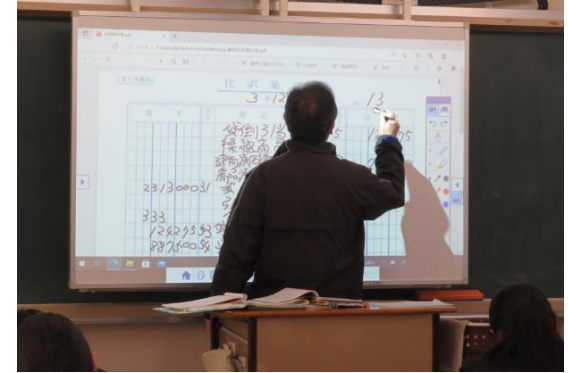
電子黒板だと補助線のみを消すことができる。以前は、もとの図形を消さないために、図形の上にクリアファイルを乗せ、上からマーカーで補助線を引いていた。

# ICT機器を活用した授業

徳島県立吉野川高等学校 「やってみたら、楽！」を実感することが、普及のポイント

## 教材をデジタル化すると、こんなに便利！

- 共有フォルダに教材を保存しているので、授業の準備時間の削減につながっている。授業後に教師間で教材を見直し、よりよいものへと改善している。
- 作成したプリントはデータ化しているので、電子黒板ですぐに投影し、授業を開始できる。
- 電子黒板や1人1台端末を活用することで、教科書やプリントがなくても、既習内容について振り返ることができる。
- 生徒間でワークシートを共有すれば、クラス全員の作業内容が一つのシートに反映される。
- 紙ベースのものをデジタル化する「移行期間」は作業が多くて大変だったが、活用できる環境が整うと、授業にとっても有効であり、また、働き方改革につながる。



商業科は、細かい表が多い。デジタル化されたひな形の表に電子ペンで書き込んでいくので、説明がとても分かりやすい。



アナログとデジタルのベストミックス。学力向上のためには、教師の「授業設計力」を更に磨く必要がある。

## ICT機器の活用によって創出された時間

- 効率化が図られ、生徒と向き合う時間が増えた。以前より、きめ細かい生徒指導に取り組むことができている。
- 授業準備にかかる時間が削減され、以前より早く帰宅できるようになった。家族と過ごす時間が増えた。